

平成29年度「留辺薬まちづくり協議会」(第8回)会議録要旨

◎ 日時	開催日時	平成29年9月28日(木)	17:00~19:07
◎ 場所		消防組合留辺薬支署・留辺薬町公民館 1階 小ホール	
◎ 出席者	協議会:	11名(横田会長、稲村副会長、荒委員、石田委員、菊池委員、坂口委員、高野委員、立垣委員、野瀬委員、古川委員、山梨委員)	
	北見市:	五十嵐自治区長 安井留辺薬教育事務所長	
	事務局:	飯塚留辺薬総合支所長 奥原留辺薬総合支所 総務課長 今野留辺薬総合支所 総務課地域振興係長 村田留辺薬総合支所 総務課地域振興係	
	傍聴者:	無し	

【 北見地区消防組合留辺薬支署新庁舎視察 】(17:00)

開 会

事務局 (総務課長) 開 会(18:00)  
皆様、あらためましてお晩でございます。消防組合留辺薬支署の新庁舎視察に引き続き会議を行います。  
それでは、横田会長からご挨拶をいただきます。

横田会長 お晩でございます。寒さが身にしむ季節になってきました。去年の温度表を見てもみると、20℃になるのが1日か2日ぐらいしかなかった気がするんですけど、9月17日の週でいくと10℃の日が続いたというふうに、私の手帳に書いてありました。  
9月24日には、ホラネロのコンサートに行ってきたんですが、あの時も寒くて、年寄りには本当に身にしみる寒さでありました。次年度に向けては、開催時間等を考慮していただければと思いました。



報 告

「 会議の成立について 」

事務局  
(地域振興係長) 本日の出席委員数は、15名中11名であります。北見市自治区設置条例第7条第3項の規定に基づき半数以上の出席がありますので、本日の会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。

なお、大江委員、武田委員、千田委員、山久委員におかれましては、所用により欠席される旨、ご連絡をいただいておりますので合わせてご報告申し上げます。

横田会長 それでは、本日の会議につきましては、概ね午後7時頃を目途に終了したいと考えておりますので、是非ご協力のほどをお願いしたいと思います。

議 題

【 (2) 公共施設に係る休館日の変更について(報告) 】

横田会長 それでは、次第の2に入りまして、議題を協議したいと思います。  
先ず、事務局の方から、今、自治区長も話されましたけど報告案件がありますのでよろしくをお願いしたいと思います。

「公共施設に係る休館日の変更について」を事務局の方から報告をお願いします。

事務局  
(総務課長) 「 総務課長 説明 」

横田会長 今、課長から報告がありました。皆さんの方から、ご意見、ご質問等々ないですか。

議 題

【 (3) 留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について 】

横田会長 続きまして、(3)「留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について」に係る答申書(案)ですけども、最終確認をしたいと思います。

前回のまちづくり協議会において、委員の皆様からいただいたご意見等を事務局にて答申書(案)に盛り込み、正副会長で内容を確認させていただいております。

前回は30分延長して喧々とお話をされましたので、答申案についてはさほど指摘もないのかなと思いますが、先ずは事務局の方から説明をお願いします。

事務局  
(地域振興係長) 只今、横田会長の方からお話がありましたとおり、お手元の答申書(案)につきましては前回までの協議結果を基に作成し、その後、横田会長、稲村副会長に内容をご確認いただいているところです。

前回の資料から、答申書の方針ですとか柱となる部分の変更については行っておりません。一部、文言の表現ですとかそういった部分のみを修正させていただいて

おります。

全体を通してあらためてご確認をいただければと思いますので、どうぞよろしく  
お願いいたします。

## 質疑・意見

横田会長                    それでは、今、事務局の方から報告がありましたけれども、皆さんの方からこの  
部分について全体を通してということでもいいと思いますけど、ご意見を伺いたいと  
思います。

荒委員                     8ページの1番上に人材確保の関係が出ていますよね。前回、介護の関係も含め  
てやったわけですけど、ここをもうちょっと何か上手い表現ができないのかなと思  
うんですけど。

1番の問題は働く人の多くは正職員ではないということですよ。ですから、労  
働条件の改善の働きかけを進めるとか、何かちょっと加えたらどうなのかなと思  
うんです。

2点目は、4番目の関係なんですけど、実際に瑞穂小中学校は来年、留辺薬小学  
校、中学校に統合されるということになっています。

そういう中で私が心配なのは、例えば、この学校ではなかなか学校生活が大変だ  
ったけど、転校をしたらしっかり学校生活をおくれて卒業できている。そういう学  
校ってあるわけです。それだけ学校の違いがあるということで、これは教育事務所  
の関係になると思うんですけど、今後の学校運営への支援体制を確立しと書いてあ  
るんですけども、1番大事なものは、子ども達が本当に安心してその学校に行って自  
分の力を発揮できるような、そういう学校運営というような形をはっきりさせた方  
がいいんじゃないかと思うんですよ。

山梨委員                    娘が道の駅でアルバイトをしているんですが、バス停が分かりづらいと。暇なと  
きは教えてあげられるんだけど、分かりやすくできないんだろうかねという話をし  
ていたんですけど。

菊池委員                    バス会社の関係もあるんでしょう。

荒委員                     バス停がありますと書いて表示ぐらいは必要ですよ。

横田会長                    陰になっていて丁度位置が悪いんですよ。看板をあっちこっちにあるのもどうか  
と思うし、答申の関係で地域交通体系の中でちょっと何かできそうですか。

事務局  
(総務課長)                    今、厚和線のバス停は道の駅の裏側にあるんですが、温根湯線の北見バスのバス  
停が多分見づらいということだと思いますが確認してみます。

五十嵐自治区長 道の駅クリーンプラザの右側に配置図みたいなものがあるんですけど、そこにバス停と入れればいいと思います。

横田会長 見やすいようにつくるためには、個体でつくった方が絶対分かると思います。

稲村副会長 道の駅の中で利用している人からそういうふうに聞かれるんですか。

山梨委員 観光客かどうかは分からないんですけど娘の話です。

稲村副会長 国道側を通る人はあんまり聞く人は実際いないと思うけど、裏側にあるから、中にいる人は分からないかもしれないですね。停留所が国道側だったら、案内板は蚊帳の外になると思います。

横田会長 今の場所が分かるようにすればいいんですけどね。

稲村副会長 どうしたらいいのかなと考えているけど、なかなか難しいのは分かります。

菊池委員 今、自治区長が言ったように看板案内板に書いて、ここがバス停ですと表示した方が分かりいいと思います。

山梨委員 トイレの中を待ち合わせということではできないですよ。

横田会長 ちょっと考えてみてください。

事務局  
(総務課長) 指定管理で管理しており、景観のこともあるので確認します。

荒委員 そこはよく相談してもらって、はっきり明示できるようにしていただければと思います。

横田会長 荒委員の意見についてはどうですか。

稲村副会長 具体的に字句は考えていないんですか。

荒委員 説明会を開催するとか、労働条件の改善とかを入れていただければと思います。

五十嵐自治区長 市としてできるかどうかということもあります。

荒委員 決めるのは法人ですから、そういうことが大事なんですよということを、市の方からも定期的に働きかけてもらえればいいのかと思っています。

- 五十嵐自治区長 保健福祉部では言えないですね。市側からやるのは難しいです。
- 横田会長 専門学校生に説明会を開くとかはできないですか。
- 五十嵐自治区長 専門学校には、うちの民営化主幹も行っていますが、保健福祉部の方でも訪問して是非北見に勤めてくださいということはやっています。
- 荒委員 置戸高校の福祉課では実習をやっていて、実習に行ったら即採用するというので、その場で決まっちゃうというのが実態だと聞いています。
- 五十嵐自治区長 置戸高校の生徒は、地元に残らないと聞いています。
- 荒委員 それで、奨学金だとかいろいろな取り組みを始めたんです。
- 菊池委員 就職先はほとんどが北見でしょう。
- 五十嵐自治区長 出身地の方へ、札幌とかそっちに行ってしまうんです。
- 稲村副会長 問題点はそれもあるんだけど、やっぱり非正規職員の給料が安いというのが何と云ったって問題なんです。市として各施設や民間に対して啓発というか何というか、圧力はかけられないしどうするかというのがなかなか難しいですね。
- 五十嵐自治区長 市側としては、全国市長会を通して給料を上げてくれとかの要望を国に対して起こしておりますし、今回、議会でも意見書が採決されましたが、待遇改善や福祉施設の報酬の関係はやっています。
- 荒委員 来年度は確実に下がりますから。
- 稲村副会長 市としては介護報酬を下げるんじゃなくて、むしろ給料を上げるために介護報酬を上げるというようなことを、国に対して言うのは全然いいと思います。そういう手立てしかないんじゃないですか。
- 横田会長 個人と国との関係だから難しいんですけども、国が介護報酬を引き上げますよと、それは労働者に払ってくださいよと言うんだけど、きちんとやっている所はあるけどやっていない所も多いです。
- 菊池委員 その辺は野瀬さんに聞いた方が早いんじゃないですか。
- 野瀬委員 処遇改善加算という形で、国の方も努力はされているんですよ。今、介護保険

の方というのは平均加算という形なんです。だから、介護福祉士が何年以上いれば加算という形になってくるので、それでいけば加算をきちっとしてきているのだから、国は本当に少しずつ努力してきていると思うんですよ。

ただ、営利というか昔みたいに営利を伴わない法人がやっているわけではなくて、営利を目的とした福祉になってきているから、それを考えると市として口出しはできないんじゃないかなと思います。

五十嵐自治区長 株式会社ができますからね。

野瀬委員 だから、私は社会福祉協議会みたいな所がいいかなと思うんです。本当に事務という形だったんですけども、今は営利というのをどうしても追求していくので、なかなか難しいです。

五十嵐自治区長 話的には分かるんです。

横田会長 1番簡単なのは、市に補助金を出せと言えば簡単な話なんだけどそれだけの財力がないからね。

野瀬委員 ただ、事業所も常勤じゃなきゃなかなか続いていかないというのが、少しずつ分かりだしてはいるんですよ。

だから、それにむけて少しずつ努力をしているところは、見られているかなとは思うんですけどね。

横田会長 それはやっぱり、口を酸っぱく言っていかなざるをえないという状況ですね。市の方で言えるかといってもなかなかそれはできるわけではないですからね。

野瀬委員 事業所自体が身を持って知ってきているかなと思います。

菊池委員 国でやっている介護保険料を上げるとはどのようなものですか。

横田会長 介護報酬です。

野瀬委員 頑張っているところには、出しましょうというのが今の国の考えですから。

荒委員 加算のハードルが結構高いんです。私は全体的にアップしないと加算だけを中心としたやり方では不味いと思うんですよ。

だから、そういう面を含めて考えてほしいなと思うものだから発言しました。

横田会長 今の意見書ではないですけど、議会か北見市を通じて意見書として出さない限り、ここでの話ではないと思います。

菊池委員 加算するプログラムがあって、それをやっていくと加算しますよということなんですか。施設によってはできない所もあるわけですね。

野瀬委員 1番の問題は、医療職はしっかりと国家試験を受けてなっていますが、福祉職というのは一般の人であればはっきりいって研修でなれちゃうんですよ。

介護福祉士みたいにしっかりと国家試験を受けて、福祉の専門職ですよということであれば、本当に常勤の正職という形になると思うんですけど、今、現状では初任者研修を終了した方達しか働いていない所もいっぱいあるので、それでいくと難しいということですよ。

菊池委員 ここでこの議論をやって解決はつかないんだけど、どうしたら上がるのかというのが皆さんから出てきて、それを市に申請するというなら分かるけどそれも難しいということですね。

稲村副会長 そういう話です。どういうふうを書くのがいいのかと言っているんですよ。

五十嵐自治区長 そこは、市全体としても人材確保が大切だということで、保健福祉部で動いていますが、今度、潜在的に資格を持っている方が家庭に入って、今、仕事を離れていますが、子どもが手を離れたらもう1回戻りませんか、そのためのちょっと研修をしませんかということをして10月にやるんですよ。

あまり人が集まっていないみたいですけど、そういう人材確保のために動いているのは間違いないし、それから地方創生の関係でも、全体的に労働者が少なくパート職員、非正規の職員が多くてなかなか居ついてくれないというのも課題としてあるということで、全体的にそういうことを打ち出してはおります。

まち協としては、人材確保の取り組みについて入れた方がいいということなんですけど、市としては、今申し上げたとおりやっていますということでご理解いただきたいなと思います。

横田会長 介護士さんなんかは、特に常勤でということじゃなくてほとんどが非正規職員ということなので、給料が上がっていかないということなんです。

上げないということもそうだし、要するに給与体系をそういうふうにして、できるだけ正職員をとらないということを法人の中でうたわれちゃうからこういうふうになるんです。

でも、それを言ったところでじゃあどうしますかといったって、法人に文句を言っても、それは財政的に大変ですと言われてしまえばそれで終わりになっちゃうしいたしかゆしですね。

菊池委員 介護施設の中でも上手くやっている所はあるんですよ。

五十嵐自治区長 結局、野瀬委員が言ったように、そこにいろいろな人間関係の問題が出ることもあるんです。

菊池委員 自分達の親を入れるために、北見市の施設を16か所ぐらい聞いて回ったんだけど、やっている所とそうでない所といろいろあってそのへんはなかなか難しい問題なんです。

五十嵐自治区長 待遇面からいくと、先ほど言われたけど、だんだんと法人には人が集まらなくなってきているから、今、募集広告は正規職員みたく月給で募集しています。  
昔はパートでと入っていましたが、今は月給で表しているというのが増えてきたので、やはり法人もそれなりに人員を確保するためには、荒委員が言われたようなことに取り組んでいるのではないかなと思っています。

荒委員 これから高齢化になっていくわけだから、本当に力を入れていかなければならないと思います。  
人手不足で、例えば、特養をつくったけどベッドを空かしておくなんていうことは、現実あるわけだから、そういう意味で、すごく大事なことだと思っていますのでちょっとこだわったんです。

菊池委員 これは市で解決できることではないですね。

荒委員 市議会で決議をして、国でもうちょっと考えてやってくださいと、中味は分からないですけどそういう方向であればいいです。

五十嵐自治区長 20年前に私は職員課人事係にいて、採用試験で面接をやっていたんですけど、その当時は福祉行政に行きたいという人が多かったんですが、最近はほとんどいないです。

横田会長 ほとんどいないんです。だから、3Kって言ったでしょう。

荒委員 福祉課の人だって分かってないですよ。私より知らない人が沢山いましたから。

五十嵐自治区長 若い人達から見るとやっぱり3Kというイメージがあるんですね。

横田会長 今日、サービス高齢者住宅に行って来たんですけど、そこの社長が給料を支払うのが大変ですと、それでもできるだけ職員を確保したいからめいいっぱい給与を出しているということで、それでも、なかなか自分達の運営は大変だということを書いていました。

結果的にイタチごっこみたいなもので、働くものは給料がほしいけれども、経営ができなくなったらそれもまた駄目で、今、内部留保が認められているわけだから、

上手くやっている所は内部留保をうんと高めてやっている所もあるかもしれないけど、皆さん方は今なかなか大変だと思いますよ。

この件については、そういうことで荒委員に理解していただいていいですね。

荒委員

議会がそういうような方向であれば私はこだわりません。

安井教育事務所長

先ほど言われていた、瑞穂の閉校に伴って子ども達がスムーズにできるようにというお話をしていたんですけども、いきなり来年の4月になってから子ども達が入っていくのではなくて、それぞれの留辺薬小学校も留辺薬中学校も、普通の行事とか授業のときに既に参加して一緒に給食を食べたりとかということをやっています。

それぞれの瑞穂と留辺薬の校長先生達も、生徒のことについての情報共有を図っているようですし、そのへんのところはなるべくスムーズにいくようにということで、PTAとかも交流をしていますし逐次やられているのかなと思っています。

あとは、やってみなければ分からないというところはありますが、そういう準備は整えつつ4月を向かえようということで進んでいますので、大丈夫かなと思っています。

菊池委員

瑞穂の場合には、子ども達は山村留学をやって他の子ども達を受け入れていたので、その子ども達を育てることを覚えているし、自分達がそれによって成長してきたということも分かっているから、順応性があると思うんですよね。

だから、学校が変わったからおかしくなるということは現実にはないと思うんです。

今までも下を向いていた子どもが3か月、4か月经ってくと段々正面を向いて、挨拶できるようになってくるんです。

荒委員

瑞穂では順応性があったとしても、心配なのは留辺薬小学校は1学級なので、1学級ですとときいているというのはすごく人間関係が固まっているんですよ。

そういうところに入っていくので、私もいろいろそういう所を経験していますから、人間関係が難しいんです。

それを引きずったままずっと中学校に行って卒業しちゃうというのが非常に多いんです。

だから、校長先生同士の交流もいいんですけど、校長先生は2年間隔で替わる人が多いので、先生方同士が交流し合うとか、いろいろな準備をしっかりとやらしてもらえばいいかなと思います。

文書には入れなくていいです。

安井教育事務所長

瑞穂と留辺薬の空気間は違いますから、少人数で大きい人数の所に入ってくるということは、それなりに子どもにとっても大変なことかなというふうに思っていますし、学校側もそういう認識でいますので、そういう部分については、サポートし

ていかなければいけないというふうに先生達も認識しているので頑張ると思います。

菊池委員                   私は全然心配ないと思っています。

横田会長                   今、荒委員が言っていることについては地域の学校によっても違いますけども、子ども達が安心して過ごせる学校ということになれば、ここの前段に、推進しますよというような表示に置き換えますので、そういうことで文言整理をさせてください。

荒委員                    あまりこだわりません。

立垣委員                   瑞穂はどれぐらいいるんですか。小学生と中学生。

安井教育事務所長       小学生9人の中学生3人です。

立垣委員                   うちも全国を転勤してきたので、転校するということはすごくハンディがあります。  
多分、最初の4月から入っていれば皆それぞれ新しくというか仲間になるんでしょうけど、6月の末に転校して、4、5、6と3ヶ月過ぎていたので5歳でもちゃんと仲間付き合いができていて、そこに入れなくてたまたまうちの子がいじめられたんですよ。

五十嵐自治区長         先生はサポートするはずなんですね。転校生っていつもいますから。

稲村副会長               瑞穂の現在いる先生方は散らばるんでしょうか。

五十嵐自治区長         留辺薬かどうかは分かりません。

稲村副会長               当然そうですね。そうしなかったら意味がないですね。

安井教育事務所長       そうなるかどうかは分かりませんが、要望としては、1人とか2人でも留辺薬小学校・留辺薬中学校の方に配置してほしいという要望も出ていますし、そういうふうになるように配慮はしたいというふうにも言っております。

菊池委員                   留辺薬から通っている先生が2人いるから、そういうのを上手く利用すればいいんです。

立垣委員                   逆に子どもは子どもで結構たくましくなりますよ。心配しなくても。

稲村副会長 最近はなかなか厳しくなって皆が大変だけど、子ども自身の個々に対する配慮というのは、そのへんはもう教育事務所だって分かっていると思います。

菊池委員 付け加えると、瑞穂の小中学校を卒業して高校に行って、いじめにあっておかしくなった人は誰もいないです。

稲村副会長 留辺薬から北見の高校に行ってさえ、なかなか馴染めない子がいるんです。  
その子にもよるんだけど6クラスも7クラスもある高校に行って、例えば、留中からだと何人かでしょうか、温根湯からなら今1人か2人でしょう。  
個々にいったらいろいろあるので、楽観してはいけないと思います。  
私も転勤族だったので、子どもが幼稚園から中学校まで4回転校したんだけど、やっぱりこれは大変なことですよ。親に係ることができないことがいっぱいあるので、この問題はこれからもずっとありますし注意してもらえないですね。

菊池委員 昔からみるとやり方が陰険になっているから、そういうことだけなんです。それを学校に注意してもらってほしいと思います。

横田会長 心配り見配りしなきゃならない。是非そういうことで皆さん方納得してください。

古川委員 交通の関係は、私達の時代から段々免許返納時代になって行くので、今からやらないと遅いんじゃないですかという事を言いたいです。  
何年前かにエフでやっていた送迎サービス、ああいう形のものが留辺薬町に1つは必要じゃないかなと思います。立ち上げてほしいです。  
できなければタクシー会社に補助金を出して、1台あそこに確保するなどそういうことができないものですか。  
バス会社に補助金が出るのであれば、タクシー会社にという発想はないですかね。

横田会長 NPO は古田さんがやっていたんですけども、途中でおかしくなっちゃったんです。

古川委員 稲村さんの奥さんがいたので分かっていますけど。

横田会長 北光ハイヤーと話をしたんだけど結局駄目なんです。

古川委員 だから、市に立ち上げてほしいんです。

横田会長 生田原もやったでしょう。やったんだけど結局やる人が段々と高齢になってくると、またそこで駄目になっちゃうという。それこそ人材確保がなかなか難しいとい

うことになるんです。

古川委員 免許返納が近づいているから必要だと思います。

稲村副会長 この問題は、どういう方法がいいのか検討する必要があると思います。

今、まだ実験中で直ぐではないけど、無人ロボットで、決まった範囲だったら時間はかかるけど予約なしで乗れるということを開発しているんだということですけども、そういうことになっていくべきだと思うんですよね。

あれは経費がかからないし、コンパクトカーだし、しかも人がいないでしょう。GPS だって決まった道を巡回しているわけだから、そういうようなことを留辺蘂の地域で、試験的やってくれというようなことはいいんじゃないかと思っています。

菊池委員 それはいいですね。

横田会長 前にもその話はあったんだけど、なかなか市も段々と方向性を変えているんです。

古川委員 1番最初に私が横田さんに言ったときに、その話が出ていますということだったんですが話が進まないですよ。

稲村副会長 そのへんの事もこれに限らないんですけども、実際にこうやってずっと書いていくけど具体的になったものは1つもないんです。

だから、最後のところにあるように、これから留辺蘂の10年後、20年後をどうするんだというビジョンを、うちだけでなく留辺蘂のいろいろな若い人も含めて皆でもっときちっとやって、それをどうやっていくかという具体的な手立てをして、市としてやってもらうこと、住民としてやることを分けてやっていかなきゃ先ず何を決めてもだめだと思うんですよね。

それを最後に書いてあるので、まち協が指導していかないとならないんだろうと思うんです。

今のロボットの話がいいですねと言ったって、利用する人がそんな不安定なものに乗れないとかということになれば、無駄になってしまいます。

だから、住民の声を入れる前に、やっぱりいろいろな人に意見を聞く場を設けて、早急にそういうものを立ち上げていくということが先ず、まち協に求められているのかなと私は思っているんです。

今回答申が終わったら勉強会をして、どうやって進めていくのか皆さんからアイデアを募って、早急にやりましょう。そういう援助をしてくれるということも書いてあるので、取り敢えずは今の段階ではそれしかないんじゃないかなと思うんですが。

荒委員

今の交通の係わりでいうと、まち協で豊金から旭3区を回って云々という話し合いもしたことがあるんですが、問題はどれだけ利用するかというのが1つの壁で、横田会長が言ったようになかなか結論が出せないというのが、そのときはそういう現状だったんです。

だから、具体的に今の状況を調べて、こういうことならやれるんじゃないかという議論は、これからやっていかないとならないと思うんです。

坂口委員

結局、よく話を出すけど福祉のことに関しては、ここは住宅政策なんですよ。昔は郊外にいても何も不自由を感じていなかったけど、車の運転もできなくなったら買物難民、医療難民みたいな形で脚光を浴びるんだけど、日本人の持ち家意識が駄目なんですよ。

だから、アパート、マンション、そこの家賃に補助金を出して、その賃貸状況なりにあった所へ住んでくださいということをしていかないと駄目だと思うんです。

中心街は社会資本が詰まっているんだから、それこそ今回も書いてもらったけど、シルバーハウジングのような安い高齢者用の公営住宅を建設してほしいです。

いくらここを離れたくないと言ったって、認知症とかになると全く知らない施設に入らなきゃならないんだから、その前に便利な所に移って住むのも1つの手だよということ、少しずつやっぱり皆が話し合って理解させていかなかったら、点在する所に施設を整備しても、湯水のごとくお金を落とすようなものだと思うんです。

車を回す、タクシーを回すと言ったって大変だから、それだったらもっとコンパクトシティ、中心なら中心に集まれるような、そういう不自由な年代になったら、ここに来ていたら皆と仲良くやれるよというようなまちづくりを目指していかなかったらならないと思うんです。

立垣委員

実際に生田原では、遠軽に行くにもタクシーを呼んで、来てもらって大変だからといってNPOを立ち上げたんですよ。結果的にこの前やめたんですけど後が続かないですね。

横田会長

皆そうなんです。今の実態はどこもそうなんです。

立垣委員

私達も今、宮下の家の2階に寝ているんですけど、階段が急で夜にトイレに起きるのが大変だねと。そのうち父さんや母さんみたいに、下にベッドを持って来ないと駄目だねと言っていたところ、たまたま引っ越すことになって、この前、新潟に行ってみると1階なので主人はすごく喜んでいました。

近くには、ホットモット、隣にはローソン、後ろにはイオンがあるので、留辺蘂の今住んでいる所よりすごく便利で、5分以内の所に全部揃っているんですよ。

だから、坂口さんが言ったみたいに、年をとったらそれが楽になるわって思っていて、そっちの方を考えてもいいかもしれませんね。

横田委員

そういうことで、やるべき人がやっているうちはいいけど、その後にちゃんと人的人材を含めてやっていくという息の長いものでないと、基本的にはそこで全部ストップになってしまいます。

だから、きちんと選択して、今、稲村さんが言った、我々が求めている留辺蘗の将来はどうあるべきかというビジョンをちゃんと出して、それに基づいてまち協の、我々ばかりでなくて、あらゆる階層の人達のトップの人達も含めて話し合いをする場所が必要です。

これをやらないと、これからの人口減少対策というのが全くできませんから、これをつくって、皆で意思の疎通を図りながらやっていくということにしないと、最終的には全部行政に責任を押し付けてということになるので、そういうことがないようにするためには、これから協力的にやっていくということだから、まち協の皆さん方にも参加してもらって、皆で情報共有していかなかったら、これからは大変だなというふうに思いますよね。

坂口委員

先ほど住宅政策の話をしてしまいましたが、これを先に言うと行政ではじゃあ何も考えなくてもいいのかとなるので、交通体系のことは別に考えていかなきゃ駄目でないかと思うんです。

でも、そのお金よりも安い公営住宅をつくった方が安いと思ったら、そっちは減ってくるんだから、だから言い続けなきゃならないんです。

稲村副会長

街中の空き家を民間資金でシェアして使えるようにするとか、いろいろ手はあると思うんです。

そういうことを具体的に、極端にいったら、例えば、中心地から1km以上離れた所に家を建てさせるなどか、そういうことを市に言っていないと、いつまで経ってもコンパクトなまちにはならないと思うんです。

我々ができることと、市や国でなかったらできないことがいろいろあると思うんですけど、知恵を絞ればいろいろあるはずなんです。

だから、そういうことを具体的に、これからつめていくのが本当の意味でのまちづくりだと私は思っているんです。

横田会長

それでは、本日の協議はこれで終わらせていただきます。

文書につきましては、今日の内容をもう一度確認をして、荒委員から提案のあったものも含めて字句の修正をしたうえで、最終的に正副会長に一任をしていただきたいと思いますがいかがですか。

「 異議なし 」 の声あり

横田会長

それでは、そのように取り扱っていきたいと思います。

答申については、10月10日午前11時から市長応接室で行われることになっております。

各自治区の正副会長が集まって一緒に答申するんですけども、稲村副会長は個人的な理由で参加できませんけど、皆さんの思いが伝わるように、市長と若干の時間ですけども話し合いをする場所がありますので、ここに盛られていない、今の古川さんのような提案もありますけど、そういうことも含めて話をする機会がありますので、しっかりとそのへんについては答申の中に入れていきたいなというふうに思っております。

#### その他

横田会長                    本日の議題は全て終了いたしました。皆さんの方から何かご意見等がありますか。  
それでは、事務局の方からお願いします。

事務局                    それでは、今後の協議会の開催につきましては今のところ予定はありません。  
(地域振興係長)            日程が決まり次第、あらためて皆様にご連絡させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

#### 閉会

横田会長                    それでは、これで終わりますが、皆様のご協力に心から感謝を申し上げて、これで終了させていただきたいと思ひます。大変ご苦勞様でした。

以上のとおり、まちづくり協議会（第8回）を終了した。

（19：07 終了）